

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2001-285650 (P2001-285650A)  
 【公開日】平成 13 年 10 月 12 日 (2001.10.12)  
 【出願番号】特願 2000-102131 (P2000-102131)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 1/419 (2006.01)**  
**H 0 3 M 7/40 (2006.01)**  
**H 0 4 N 1/387 (2006.01)**  
**H 0 4 N 7/26 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 1/419  
 H 0 3 M 7/40  
 H 0 4 N 1/387  
 H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のデータを、第 2 のデータに変換するときに用いる、前記第 1 および第 2 のデータに対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理装置であって、

前記第 1 のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第 1 のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成する度数分布生成手段と、

前記基準データの値ごとの前記第 1 のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成手段と  
 を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】 前記度数分布生成手段は、前記基準データに対して、時間的または空間的に近い位置にある前記第 1 のデータの度数分布を生成することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 3】 前記度数分布生成手段は、前記基準データに対して、時間的または空間的に隣接する前記第 1 のデータの度数分布を生成することを特徴とする請求項 2 に記載のデータ処理装置。

【請求項 4】 前記テーブル生成手段は、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第 1 のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第 2 のデータを割り当てることにより、前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを生成することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 5】 前記第 1 のデータは、画像を構成する画素値である  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 6】 第 1 のデータを、第 2 のデータに変換するときに用いる、前記第 1 および第 2 のデータに対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理方法であって、  
 前記第 1 のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第 1 のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準デー

タの値ごとに生成する度数分布生成ステップと、

前記基準データの値ごとの前記第１のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成ステップと  
を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項７】 第１のデータを、第２のデータに変換するときに用いる、前記第１および第２のデータに対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記第１のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第１のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成する度数分布生成ステップと、

前記基準データの値ごとの前記第１のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成ステップと

を備えるプログラムが記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項８】 第１のデータを、第２のデータに変換するデータ処理装置であって、

前記第１のデータを選択するとともに、その選択された第１のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第１のデータを、基準データとして選択する選択手段と、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第１および第２のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第１のデータを、前記第２のデータに変換する変換手段と  
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項９】 前記変換テーブルは、前記第１のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第１のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第１のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項８に記載のデータ処理装置。

【請求項１０】 前記変換テーブルは、前記第１のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第１のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に近い位置にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第１のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項９に記載のデータ処理装置。

【請求項１１】 前記変換テーブルは、前記第１のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第１のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に隣接するものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第１のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項１０に記載のデータ処理装置。

【請求項１２】 前記変換テーブルは、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第１のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第２のデータを割り当てることにより、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項９に記載のデータ処理装置。

【請求項１３】 前記第１のデータは、画像を構成する画素値である

ことを特徴とする請求項８に記載のデータ処理装置。

【請求項１４】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを記憶する記憶手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項８に記載のデータ処理装置。

【請求項１５】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを生成する生成手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項８に記載のデータ処理装置。

【請求項 16】 前記第 1 のデータを変換して得られる前記第 2 のデータを圧縮する圧縮手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 8 に記載のデータ処理装置。

【請求項 17】 第 1 のデータを、第 2 のデータに変換するデータ処理方法であって、

前記第 1 のデータを選択するとともに、その選択された第 1 のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第 1 のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第 1 および第 2 のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第 1 のデータを、前記第 2 のデータに変換する変換ステップと

を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 18】 第 1 のデータを、第 2 のデータに変換するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記第 1 のデータを選択するとともに、その選択された第 1 のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第 1 のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第 1 および第 2 のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第 1 のデータを、前記第 2 のデータに変換する変換ステップと

を備えるプログラムが記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項 19】 第 1 のデータを変換して得られる第 2 のデータを、元の第 1 のデータに逆変換するデータ処理装置であって、

前記第 2 のデータを選択するとともに、その選択された第 2 のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第 1 のデータを、基準データとして選択する選択手段と、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第 1 および第 2 のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第 2 のデータを、前記第 1 のデータに逆変換する逆変換手段と

を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 20】 前記変換テーブルは、前記第 1 のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第 1 のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第 1 のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 21】 前記変換テーブルは、前記第 1 のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第 1 のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に近い位置にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第 1 のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項 20 に記載のデータ処理装置。

【請求項 22】 前記変換テーブルは、前記第 1 のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第 1 のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に隣接するものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第 1 のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項 21 に記載のデータ処理装置。

【請求項 23】 前記変換テーブルは、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第 1 のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第 2 のデータを割り当てることにより、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項 20 に記載のデータ処理装置。

【請求項 24】 前記第 1 のデータは、画像を構成する画素値である

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 25】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを記憶する記憶手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 26】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを取得する取得手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 27】 圧縮された前記第 2 のデータを伸張する伸張手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 28】 第 1 のデータを変換して得られる第 2 のデータを、元の第 1 のデータに逆変換するデータ処理方法であって、

前記第 2 のデータを選択するとともに、その選択された第 2 のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第 1 のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第 1 および第 2 のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第 2 のデータを、前記第 1 のデータに逆変換する逆変換ステップと

を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 29】 第 1 のデータを変換して得られる第 2 のデータを、元の第 1 のデータに逆変換するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記第 2 のデータを選択するとともに、その選択された第 2 のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第 1 のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第 1 および第 2 のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第 2 のデータを、前記第 1 のデータに逆変換する逆変換ステップと を備えるプログラムが記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 6 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 7 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 7 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 4

【補正方法】削除

【補正の内容】